（仮称）川西市行財政運営基本方針骨子（案）のイメージ図

令和５年５月１５日　行財政改革審議会　資料２

第６次総合計画の実現のための財源確保

めざす姿

変化の激しい時代に対応した効果的な市民サービスを 提供し続ける行財政運営

川西市民の生活を取り巻く状況

【外的要因】
1．国際情勢の変化（物価高騰）
2．パンデミック、コロナ
3．気候変動、異常気象、台風、豪雨
4．人口減少、少子高齢化
5．価値観やニーズの変化
6．デジタル技術の急速な進化
7．働き方、学び方の変化（在宅勤務、オンライン学習）

川西市役所の行財政運営を取り巻く状況

【内的要因】
川西市の現状から更に取り組む必要があるもの
1．人　：働き方改革に適応した人事戦略と職場環境
流動化に対応した人材確保、配置、評価、登用、管理職のマネジメント
（残業、長期休暇（育休・療養）、障害者雇用などへの対応）
2．モノ：公共施設の老朽化
3．金　：基金残高の確保、債務残高の削減
4．情報：デジタル人材、新技術（AI、RPA）の導入
5．時間：臨時的業務の経常化（ワクチン、各種給付金など）

効果的な市民サービスの提供

1.的確なニーズ把握、分析
2.コア業務とノンコア業務の選別
3.事業効果検証の組織風土化
4．ＰＤＣＡサイクルの徹底
【強み】決算成果報告書（総合計画と予算と決算の連動）

行財政運営の生産性を上げる

1.最新技術の活用
（事務処理、情報発信、意志決定）
2.アナログ規制からの脱却（対面規制）
3.現場への権限委譲
4.定例業務の自動化、標準化

スクラップアンドビルドの仕組み

1.新規事業実施のための財源を確保
2.毎年度スクラップする事業を決定する仕組みを構築
3.スクラップ･･･ＥＣＲＳの検討
（やめる、集約する、代替えする、簡素化する）

成功要因

①職員が能力を最大限発揮できる職場づくり
②新しい技術（デジタルなど）
③市民・民間の力やノウハウとの積極的な協働
④グリーンイノベーション

①職員が能力を最大限発揮できる職場づくり
・効果的な研修の実施
・自己啓発の支援
・人材育成に繋がる人事評価

②新しい技術
・デジタル技術（ＡＩ、ＲＰＡ）
・通信技術（情報通信技術）
・ 交通運輸技術（自動運転、ドローンによる物資輸送）
【強み】決裁の9割が電子化

③市民・民間の力、ノウハウ、協働
・市民協働
・官民連携
・行政間による広域処理
・社会課題の解決と経済成長の両立を目指す事業者
・ＰＦＩ、指定管理者制度
【強み】連携協定数やＰＦＩの導入数が多い

④グリーンイノベーション
・再生可能エネルギー
・公共施設の省エネ化
・エネルギー高騰、 供給リスクの軽減
・ゼロカーボンシティ宣言